

Ⅷ. 特別勘定に関する指標等

Ⅷ-1 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2006年度末	2007年度末
	金 額	金 額
個人変額保険	12,362	9,954
個人変額年金保険	—	—
団体年金保険	45,185	38,681
特別勘定計	57,547	48,635

Ⅷ-2 個人変額保険特別勘定資産の運用の経過

2007年度の資産運用概況

イ. 運用環境

2007年度の日本、米国および欧州経済は夏場以降、米国のサブプライム住宅ローン(信用度の低い借り手への住宅ローン)問題に端を発した信用収縮の世界的拡大に伴う金融市場の混乱が大きな話題となりました。その後金融市場の混乱のみならず、実体経済へ悪影響を及ぼす懸念から景気減速の気運が広がり、先行きの不透明感に覆われました。

ロ. ファンドの運用実績

2007年度の国内株式市場は、7月中旬までは世界経済の拡大を背景に好業績に対する期待感から堅調に推移したものの、その後は米国サブプライム住宅ローン問題に端を発した金融市場の混乱を受け大幅に下落しました。国内債券市場は、日銀の早期利上げ観測の浮上などにより、金利は6月に2%近くまで上昇する場面もありましたがやはり米国でのサブプライム住宅ローン問題をきっかけに、期末にかけ金利は低下基調となりました。外国為替市場では、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げ、また金融市場の混乱により投資家のリスク許容度が低下した結果、円キャリー取引の巻き戻しが起こるなどし、円買い需要が拡大。円高ドル安が進行しました。このような環境の中、国内株式、外国株式のパフォーマンスが大きくマイナスとなりファンド全体に大きく影響、2007年度の収益率は△11.68%、1986年11月1日の運用開始以来の収益率は+84.44%(年率換算+2.90%)となりました。

ハ. 今後の運用方針

将来の保険金のお支払いに備えるため、リスクコントロールを図りながら、「財産の長期的な成長」を目指します。運用においては資産配分を重視し、中長期的なマクロ経済分析に基づき、最適なアセットミックスを決定します。また、国際分散投資を図るため、市況・為替動向にも留意しつつ外貨建有価証券への投資を継続していきます。

国内債券については、中長期的にインフレへの転換や政策金利の正常化を背景に長期金利が上昇すると予想していますが、当面は世界経済および日本経済の減速を背景に上昇しにくい環境を想定しており、現状の資産配分を維持する方針です。

国内株式については、底堅いアジア向け輸出や健全な在庫水準など、急速な悪化は考えにくく、中長期的に株価上昇を予想しますが、短期的には円高による減益予想や政局混迷、世界金融市場の混乱などもあり、現状の資産配分を維持する方針です。

外国債券については、米国長期金利の年度後半における財政・金融政策効果の顕在化に伴う上昇を予想していますが、金融システム混乱の継続による「質への逃避」再燃の可能性もあり、現状の資産配分を維持する方針です。

外国株式については、財政・金融政策による年度後半の米国経済の浮揚を予想しますが、金融システムの混乱による実体経済への影響、米国経済悪化の新興諸国経済への影響など、当面は不安定な状態を想定しており、現状の資産配分を維持する方針です。

VIII - 3 個人変額保険の状況

(1) 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2006年度末		2007年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険(有期型)	29	63	27	50
変額保険(終身型)	4,124	14,941	3,825	12,579
合 計	4,153	15,005	3,852	12,630

(2) 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2006年度末		2007年度末	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
現預金・コールローン	523	4.2	375	3.8
有 価 証 券	11,270	91.2	9,143	91.9
公 社 債	3,083	24.9	2,974	29.9
株 式	3,983	32.2	2,795	28.1
外 国 証 券	4,204	34.0	3,372	33.9
公 社 債	1,600	13.0	1,528	15.4
株 式 等	2,603	21.1	1,844	18.5
その他の証券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
そ の 他	567	4.6	435	4.4
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	12,362	100.0	9,954	100.0

(3) 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2006年度	2007年度
	金 額	金 額
利息配当金等収入	203	213
有価証券売却益	161	152
有価証券償還益	3	0
有価証券評価益	965	140
為替差益	0	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	0	0
有価証券売却損	539	765
有価証券償還損	4	0
有価証券評価損	71	966
為替差損	—	0
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	0	0
収 支 差 額	718	△1,226

(4) 個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

① 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	2006年度末		2007年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	11,270	894	9,143	△825

(注) 本表には、「金銭の信託」等の売買目的有価証券を含みます。

② 金銭の信託の時価情報

該当事項はありません。

③ 個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報

(ヘッジ会計適用・非適用分の合算値)

イ. 差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

該当事項はありません。

ロ. 金利関連

該当事項はありません。

ハ. 通貨関連

該当事項はありません。

ニ. 株式関連

該当事項はありません。

ホ. 債券関連

該当事項はありません。

ヘ. その他

該当事項はありません。